

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、預り金及び前受金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	10,285,678	3,590,979
現金	76,013	0
振替預金	4,997,869	23,979
普通預金	5,211,796	3,567,000
合 計	10,285,678	3,590,979
預り金	30,540	111,353
前受金	6,499,390	102,000
合 計	6,529,930	213,353
次期繰越収支差額	3,755,748	3,377,626

### 3. 予算額と決算額との差異が著しい科目及びその理由

- (1) 講習会収入が予算に対して減少となった原因は、年2回実施を計画していたが、学会の移行準備等のため実施できなかったことが原因です。
- (2) 広告料収入が予算に対して減少となった原因は、景気後退に伴い申し件数の減少によるものであります。
- (3) 協力研究費収入が予算に対して減少となった原因は、1件申込を計画していましたが、申込が有りませんでしたので、減少となりました。
- (4) 全国講演会支出が予算に対して増加となった原因は、HP作成費と懇親会費が高額であったことが原因であります。
- (5) 学会誌支出が予算に対して減少となった原因は、会報・会告をWebに掲載するなどページ数の削減に努めたことが原因であります。